

災害情報研究会 R4 年度 第 7 回定例会議事録

1. 日 時：2022 年 10 月 21 日（金） 15:00～17:40
2. 場 所：Zoom ミーティング
3. 出席者：（6 名：敬称略・順不同）
市川（レスキューナウ）、高橋（インフォコム）、水落（NEC ソリューションイノベータ）、
前田、梅田（リスクマネジメントオフィス梅田）、中村：議事録作成

4. 議事

(1) 新型コロナ対応モデル更新（2022 年 10 月更新版）

- ・4、5 月分更新を今回実施。6～9 月分更新は来月。

(2) ビカオを用いた演習の BCAO 月例勉強会での披露

- ・12 月に実施要請あるも、多忙につき 4 月以降に実施すると回答する。例えば、4 月に本社側、7 月に現地側として参加者を募る。
- ・準備の一環として、12 月に当研究会メンバーで本社側の模擬演習を行う。その内容を 11 月に協議する。
- ・どうしても 12 月の月例勉強会で何かしてもらいたいといわれたら、アクションカードとビカオの使い方のセミナーを実施する。

以下、4 月以降に実施する演習についての意見交換

- ・BCAO 会員（熟練者）を対象とした、集合型ではなく、オンライン（Zoom）演習。
参加者は 60～70 人と見込まれる。したがって、ブレイクアウトルームは 10 程度必要。
- ・リーダーを決めてもらって、リーダーはメンバーに ICS を念頭に役割をふる。役割ごとに対応すべきアクションカードが整理されているとわかりやすい（高橋さん作成の表あり）。
- ・ステージ（時系列）に対応するアクションカードからいくつかピックアップして提示し、それらへの対応を求める。併せてそのステージに関わるビカオの情報をまとめて渡す。イラストがあると状況が把握しやすい。
- ・参加者は本社災害対策本部のメンバーの態で協議し、対応の内容を役員会（市川社長）に向けて発表する。
- ・研究会のメンバーはブレイクアウトルームを巡回。必要に応じて質問に回答。
- ・演習後、自社に寄せて使ってみたいかアンケートで問うと、その回答内容が気づきにつながる。

次回開催予定

- ・日時：2022 年 11 月 18 日（金） 15:00～17:00
- 場所：Zoom ミーティング
- 議題：1) 新型コロナ対応モデル更新作業（6～9 月反映）
2) 12 月に当研究会内でおこなう本社側模擬演習の内容協議
- 宿題：新型コロナ対応モデル更新作業に関連して（カッコ内は担当）
 - ・病床使用率等の追記（水落さん）
 - ・NHK ニュースのピックアップ： 6, 7 月分（前田さん） 8, 9 月分（梅田さん）